

注 意  
特に厳重な取り扱いを要す

# イラク後送業務隊の活動報告



18. 7. 30  
イラク後送業務隊

## イラク後送業務隊活動報告 (7月30日)

### 1 人員・装備の状況

○ 人員・装備：異状なし

*UNDPof 等*

### 2 30日(日曜日)の活動

	区 分	業 務 内 容
後送業務	コンテナ作成	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">6個コンテナ作成</div> (車両×2、通電×1、需品×3)
	洗 車	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">6両後送準備</div> (高機動車×6)
	本邦後送	○コンテナ船によるコンテナ70本(実20、空50)の後送 →コンテナ船が故障しドック入りしたため8月2日出航に変更
	その他	○車両燃料の抜き取り(40両) ○車載無線機の取り外し(15両)
	その他	○キャンプバージニア施設撤収業務 役務業者によるコンテナ(38本)の輸送 キャンプバージニア施設閉所式  ○別紙第1「RSU活動状況(7月30日)」

*残りのコンテナのみ本隊CV→K6LN  
(このため)*

**KWからの装備品等の後送状況把握（全体像）**

**コンテナ**

KWから本邦へ後送するコンテナ総数【581本】			
コンテナ詰め数【220本】		空数【361本】	
終了【119本】	今後実施【101本】		
後送済【56本】		後送済【0本】	

**車両**

KWから本邦へ後送する車両総数【230両】	
洗車終了【115両】	今後実施【115両】
後送済【27両】	

**3 後送業務の進捗状況**

7月30日末現在

区分	計画		実績 (c)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (c/a)	計画比 (c/b)		
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	290 [5]	85.7%	99.6%	166 <del>54</del>	
	コンテナ詰め (点数)	99,451	34,723	34.667 [5,563]	34.9%	99.8%	64,784
	後送 (点数)		7,412	7.412 [0]	7.5%	100%	92,039
車両	洗浄	230	100 [6]	50%	115%	115	
	後送		27 [0]	11.3%	100%	203	

※ 点数については、弾薬を除いた点数  
【 】内は当日の実績で内数

4 31日(月曜日)の活動予定

区分		業務内容
後送業務	コンテナ作成	6個コンテナ作成 (車両×1、通電×1、需品×2、施設×2)
	洗車	6両後送準備 (LAV×1、業務車4号×1、燃料タンク車×1、高機動車×3)
	本邦後送	なし
	その他	なし
その他		○キャンプバージニア施設撤収業務 役務業者によるコンテナ(3本)の輸送  ○隊朝礼 安全教育「車両事故防止」

5 週間後送計画及び実績

区分	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4
	土	日	月	火	水	木	金
コンテナ作成	車両×2 通電×1 火器×1 施設×1 化学×1	車両×2 通信×1 需品×3	車両×1 通信×1 需品×2 施設×2	通信×1 衛生×1 需品×1 施設×1	車両×3 通信×1 需品×2	車両×3 通信×3	0
	車両×2 通電×1 火器×1 施設×1 化学×1	車両×2 通信×1 需品×3					
洗車	6	6	6	2	6	6	0
	6	6					
後送	コンテナ	20			20		
	トレー						
	車両						

※下段には実績を記入

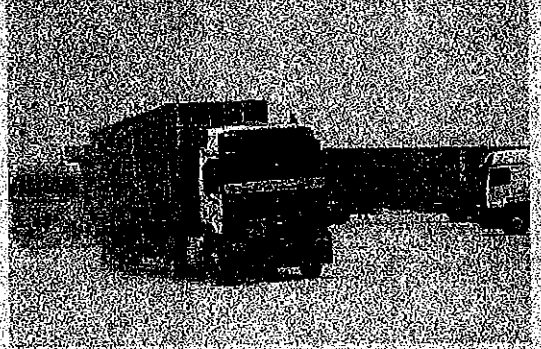
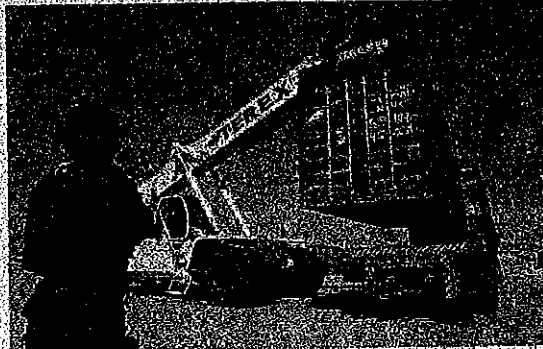
## 6 日々ミーティング

- 治安情勢:別紙第2「クウェートの治安状況等(7月30日)」
- RSU長指導事項
  - ー 本日、支援群の部隊交代等の際の拠点として使用していたキャンプバージニアの撤収が概ね終了した。今後はこれまで以上に本来任務である後送業務に専念し、計画的に業務を実施せよ。

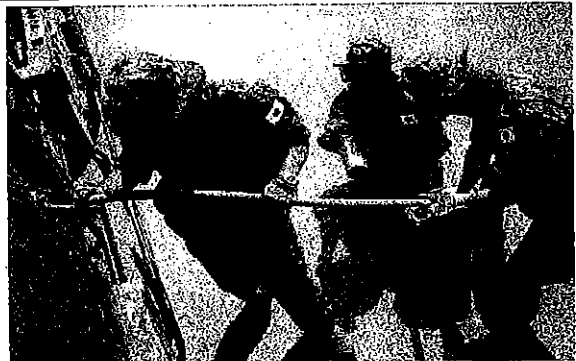
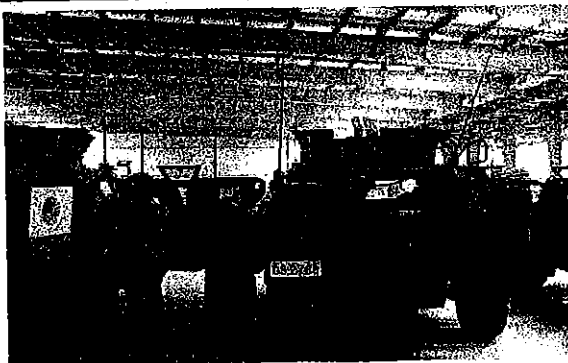
## RSU活動状況 (7月30日)

別紙第1

キャンプバージニア展開施設の撤収



キャンプバージニアからNCC倉庫へのコンテナ輸送(38本)



倉庫における無線機卸下の状況

PWC洗浄施設における燃料抜きとりの状況



## 「レバノンでのジハードに関するクウェートの大学教授の意見」

## 3 クウェート大学のイスラム聖法のC教授の発言(Aに比べ過激)

- (1) 苦難を受けている人々がイスラムの兄弟達に助けを求めた場合は、そのジハードは義務である。
- (2) レバノン防衛のための戦いは、すべてのイスラム教徒にとって義務的ジハードである。シオニストの侵略を撃退できないときは、世界のイスラムの兄弟達に助けを求めべきである。
- (3) レバノンでの戦いはレバノン人がイスラムの兄弟に助けを求めた時、それはジハードである。

## 【参考】

ジハードとはイスラム世界で信仰のための戦い。宗教的な迫害や布教妨害に対して武力を行使する事。聖戦。

## 【評価】

下記の点から、クウェートでジハードに関する何らかの動きが活発化する可能性は当面低いと思料。

- 1 クウェート大学のイスラム聖法の教授でもジハード観は多種・多様であり、また大学教授の発言が新聞に載る事で、どれほどの影響力があるかは現時点で不明。
- 2 クウェートでのアラビア語新聞及び英字新聞の論調は、レバノン情勢に関して停戦は悲観的になりつつあり、ここ数日の論調は「イスラエル憎し」より、レバノン救済をいかにするかという事が主流。

## 【クウェート人の自衛隊に対する一般的な意見】